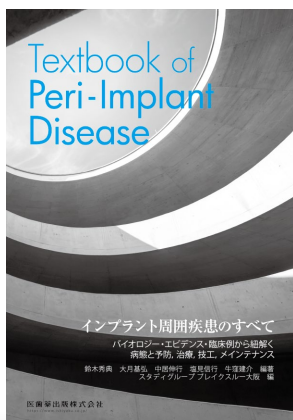


インプラント周囲疾患のすべてを紐解く 待望の一冊！



インプラント周囲疾患のすべて

Textbook of Peri-Implant Disease

鈴木秀典・大月基弘・中居伸行・塩見信行・牛窪建介
編著

A4判/244頁

定価 19,800円 (本体 18,000円 + 税 10%)

医歯薬出版 (2022年8月)

東京都千代田区・ブローネマルク・
オッセオインテグレイション・センター
評・山口千緒里 (歯科衛生士)



私自身、インプラント治療に長年携わっていますが、インプラントは長期にわたり口腔内で機能して患者さんの生活を支えるものであり、患者さんに害をなすものであってはならないと考えています。それではこの原則を守るために、インプラント治療において私たちはどうしたらよいでしょうか。本書では、その答えがバイオロジー、エビデンス、臨床例をとおして多角的に考察され、記されています。

編著者はいまをときめく、そして今後の歯科界を牽引するであろうスタディグループ・ブレイクスルー大阪の先生方。各先生方のインプラント治療の実践とすぐれた臨床結果から

導き出された考察は、インプラント治療にかかわる多くの臨床家にとってきわめて有用と考えます。

インプラント治療では、長期にわたって患者さんと良好な関係を構築し、それを継続していくことが求められます。歯科衛生士は初診からメインテナンスに至るまで、治療が成功するよう、そしてその結果が長期にわたって維持できるように患者さんをサポートする責務があります。

リスクとなりうる基礎疾患や生活習慣はないだろうか、口腔内の衛生管理はできているか、治療にかかる期間や費用について十分に納得されているだろうか、上部構造の材質や形態は適切なものであるか、メインテナンスの必要性についてご理解いただいているか……。このような問題一つひとつに取り組み、患者さんと真摯に向き合うためには、何よりも知識と技術が不可欠であり、これらをつねにアップデートしていかなければなりません。

本書では、「口腔インプラントとは」といった基礎的な知識から、インプラント周囲疾患の病態、インプラント周囲の検査や病態に応じた治療法、上部構造とインプラント周囲組織との関係などの補綴学的な考察、メインテナンスの実際やトラブル発生時の対処法まで、最新のエビデンスをもとに詳細に考察・解説がなされています。多くの写真や図・表を用いてビジュアルに示されており、読者の理解を助けてくれることでしょう。

インプラント治療はチーム医療であり、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士をはじめとする歯科医療従事者が協力してはじめて成り立つ治療です。インプラント治療にかかわるすべての歯科衛生士に、本書を座右の書としていただきたいと思います。